

速報 平成31年度全国学力・学習状況調査結果(下野市の概要)

令和元年8月20日
下野市教育委員会

平成31年度の全国学力・学習状況調査の下野市の結果(国語、算数・数学、英語)の全体の結果は、小・中学校ともに全国平均正答率を上回る結果となりました。また、小・中学校ともに全教科全ての領域で、全国平均正答率と同程度か上回る結果となりました。

平成31年4月18日(木)実施

【調査対象】 小学校6年生
中学校3年生

①教科に関する調査

〈教科〉 小学校第6学年(国語、算数)
中学校第3学年(国語、数学、英語)

〈領域〉

- ◇国語(小・中) 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」
「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」
- ◇算数(小) 「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」
- ◇数学(中) 「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」
- ◇英語(中) 「聞くこと」「書くこと」「読むこと」「話すこと」
※「話すこと」調査は学校、個人の正答率の結果のみ提供

②児童生徒質問紙調査

- 質問数 小学校58問、中学校69問
- 回答方法 選択回答式
- 質問内容 小学校、中学校ともにほぼ同じ内容
 - 基本的な生活習慣等
 - 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等
 - 学習習慣等
 - 地域や社会に関わる活動の状況等
 - 部活動に関する状況等 ※中学校のみ
 - ICTを活用した学習状況
 - 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況
 - 学習に関する興味・関心や授業の理解度等(国語、算数・数学、英語)
※英語は中学校のみ
- 各教科の調査時間の適切性

【児童・生徒のデータについて】

- ・ 下野市 市内小中学校全校のデータ
- ・ 栃木県 公立小中学校全校のデータ
- ・ 全国 公立小中学校全校のデータ

【下野市と全国平均正答率との比較 H21～31全体比較】 ※H23、24は抽出調査

- ◎ 大きく上回っている (5ポイント以上)
- 上回っている (1ポイント以上5ポイント未満)
- － 同じ (±1ポイント未満)
- ▽ 下回っている (1ポイント以上5ポイント未満)
- ▼ 大きく下回っている (5ポイント以上)

小学校	21	22	25	26	27	28	29	30	31	中学校	21	22	25	26	27	28	29	30	31
国語A	○	○	○	▽	▽	－	○	○	○	国語A	○	○	○	○	○	○	－	○	○
国語B	○	－	○	○	－	○	○	○	○	国語B	◎	◎	◎	○	○	◎	○	○	○
算数A	－	○	○	－	－	－	○	○	○	数学A	◎	◎	○	○	○	○	○	○	－
算数B	－	○	○	○	○	○	○	○	○	数学B	◎	◎	○	◎	◎	○	○	○	○
理科										理科									
英語																			

※ 平成31年度よりA、B問題の区分なし。

【全体・領域別の結果】

◇下野市と県・全国平均正答率との比較

【H31全体】

《小学校6年》	県との比較	全国との比較	《中学校3年》	県との比較	全国との比較
国語	○	○	国語	○	○
算数	○	○	数学	○	○
			英語	○	○

【H31領域別】

《小学校6年》

国語	県との比較	全国との比較	算数	県との比較	全国との比較
話すこと・聞くこと	◎	◎	数と計算	○	○
書くこと	◎	◎	量と測定	◎	○
読むこと	○	○	図形	○	－
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○	－	数量関係	○	○

《中学校3年》

国語	県との比較	全国との比較	数学	県との比較	全国との比較
話すこと・聞くこと	－	－	数と式	○	－
書くこと	○	○	図形	○	○
読むこと	○	○	関数	○	○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○	○	資料の活用	○	－
英語	県との比較	全国との比較			
聞くこと	○	○			
話すこと	公表なし	公表なし			
読むこと	○	○			
書くこと	◎	○			

① 教科に関する調査結果について

【小学校6年生】

国語では、「話すこと・聞くこと」で7ポイント以上、「書くこと」で6ポイント以上、「読むこと」で3ポイント以上全国の平均正答率を上回り、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、全国の平均正答率と同程度の結果となりました。

算数では、「量と測定」で4ポイント以上、「数と計算」、「数量関係」で2ポイント以上全国の平均正答率を上回りました。「図形」は、全国の平均正答率と同程度の結果となりました。

【中学校3年生】

国語では、「書くこと」で3ポイント以上、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で1～2ポイント全国の平均正答率を上回りました。「話すこと・聞くこと」は、同程度の結果となりました。

数学では、「図形」、「関数」で1～2ポイント全国の平均正答率を上回りました。「数と式」、「資料の活用」は、同程度の結果となりました。

英語では、「読むこと」で3ポイント以上、「聞くこと」、「書くこと」で2ポイント以上全国の平均正答率を上回りました。

② 児童生徒質問紙結果について

児童生徒質問紙の結果は、「1. 当てはまる」「2. どちらかといえば、当てはまる」といった肯定的な回答の割合が算出できる質問から集計しました。

【小学校6年生】

58項目のうち質問別肯定率が算出できる55項目中、全国との比較では54項目が、県との比較では51項目が同程度か上回る結果となりました。特に、「国語の授業に関する興味・関心や授業の理解度等」、「総合的な学習の時間における授業改善に関する取組状況」の項目が高い結果となりました。

【中学校3年生】

69項目のうち質問別肯定率が算出できる66項目中、全国との比較では62項目が、県との比較では47項目が同程度か上回る結果となりました。特に、「英語の授業に関する興味・関心や授業の理解度等」、「総合的な学習の時間における授業改善に関する取組状況」の項目が高い結果となりました。

今後、この結果を分析し、学校・家庭・地域における学習指導や生活指導の工夫改善等に生かし、児童・生徒のさらなる学力向上につなげていきたいと考えています。